

錦江に生きている

にじゅうろくにん目

牧原^{まきはら}

弘弥^{ひろや}

さん

(昇陽自治会)



▲仕事に集中する弘弥さん。だが・・・カメラが気になる様子。



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第26回目は、昇陽自治会の牧原弘弥さんです。

みんなから「ひろやー」と親しまれている牧原弘弥さんは、ちよつとおながが気になる社会人3年目の22歳。

仕事は楽しいですか？と多少不躰な質問をすると、「それはもう、楽しいですよ。」と返ってきた。語尾に元気がないような気がしていると「まだまだ仕事も半人前なので楽しいって感覚は失礼かと。」と続けた。弘弥さんの真面目な一面を垣間見た瞬間だった。実は弘弥さん、高校を卒業後、大学進学の間を選んだという。しかし、役場の採用試験があるという話を聞き、大学を辞めて地元で働きたいと強く感じたのだそう。これと決めたら猪突猛進型(本人曰く)の弘弥さんは両親と話し合い、役場で働く道を選んだ。迷いはなかったですか？と尋ねると、「全然なかったですね。自分も田代が好きですし、地元に戻しをしたいので」と力強く話した弘弥さんが頼もしく見えた。

弘弥さんに趣味を尋ねると、「これといった趣味はないかもしれませんがね。でも、小さい頃からずっと剣道が続けてます。」と

答えた。弘弥さんは役場に入ってから田代小の剣道スポーツ少年団でコーチをしている。「指導しているというよりは自分も剣道が好きですし、逆に自分の趣味の相手小学生にしてみらってる感じかもしれません。」と照れくさそうに笑った。続けて、「最近では部員が少ないので剣道の裾野を拡げていけるように頑張っていきたいですね。」と剣道に対する想いを口にした。

最後に一言お願いすると「今の自分は、何においてもまだまだ半人前なので早く一人前になりたいです。そして仲間たちと地域を盛り上げていけるような活動が出来たらいいです。」と話した。そして、「アレいいですかね?アレ。」アレ?「前に何人か。」と言いにくそうにしている弘弥さんに、部員募集の記事ですか?と問うと、「それもお願ひします!」とのこと。それも?とさらに問うと、「・・・。」

元気がいっぱい、夢いっぱい弘弥さん
只今、部員募集中!そして恋人も大募集中!

編集後記

●梅雨が明けると「夏本番」です。毎年この時期は熱中症が心配になります。今月号でも取り上げていますが、熱中症など暑さ対策をとり、「南国の夏」を楽しく乗り切りましょう。

●「まちのできごと」で取り上げたワミガメ救出に立ち会いました。当然ながら触るのは初めてでした。別に触れても何にもならないだろう。と感じていましたが、大自然の象徴のような生物であるワミガメに接したら、なんとも言えない感情が湧きました。そうです。「感動」しました。ひとは感動するとなんとも穏やかな表情になるのですね。救出作戦に参加した職員の様子を見て気付きました。

●救出作戦に参加した、M君。「竜宮城ってあるんですかね?招待状がきたらどうしよう!」と、これには周りのみんなも「感動してたんちゃうんかい!」と関西弁で突っ込みました。

●「気になる一枚」は紙面の都合上休載いたしました。